お知らせ
Notice

成長痛についてのセミナーを開催しました

当院が和歌山県より指定を受けている、地域リハビリテーション広域支援センターの活動の一環として地域交流会を開催しました。
講師は、プロスポーツチームのトレーナーとして多数の実績をお持ちの、北川雄一先生をお招きし「成長痛」をテーマに行いました。
風船を使った正しい呼吸法の身につけ方、正しい身体の動きを促すトレーニング、体幹を意識させるトレーニングなど様々な内容でした。
今後も北川雄一先生とともに、地域リハビリテーション広域支援センターの活動として、様々な交流会、セミナーを開催してまいります。次回開催はフェイスブック、ホームページ等にてご案内しますので皆様のご参加をお待ちしております。







Access
アクセス



公共交通機関でお越しになられる方

- 紀の川コミュニティバス「丸栖北」下車すぐ
- JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで 5 分（徒歩約 20 分）
- 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栖北」下車すぐ

社会医療法人　三車会
貴志川リハビリテーション病院
〒640-0401　和歌山県紀の川市 貴志川町丸栖 1423-3
TEL　0736-64-0061 ／ FAX 0736-64-0063
〔HP〕http://www.mikurumakai.or.jp

Notice
お知らせ



10 月 1 日、当院の谷口隆哉医師による「膝と股関節の健康講座」を開催しました。
11 月 14 日、西山大介医師による「股関節の健康講座」を行います。詳細は、当院ホームページのトピックスをご覧ください。

フェイスブック
Facebook

三車会は Facebook ページを運営しています。
お気軽にフォロー＆いいね よろしくお願いします。

facebook facebook facebook facebook

貴志川リハビリテーション病院
赤ひげクリニック
たま整形外科
Acti-va

社会医療法人 三車会　広報誌

秋号
2019
Vol.22

みくるま通信



Lineup
掲載内容

- 想いを叶える
- 亜州大学病院研修
- 成長痛セミナー
- 膝と股関節の健康講座



シリーズ企画
Episode.1

想いを叶える

～想い（目的）を叶えるためにリハビリに取り組む患者様・利用者様にお話を伺いました～

ニックネーム：ユートピアなごみさん（以後、UN さん）



UNさんは、8年前に脳梗塞、5年前に脳出血を患い、左半身にマヒが残っています。介護度4で、赤ひげクリニックのデイケア（6~7h）を週1回、訪問リハビリを週2日利用しています。言葉もしゃべりにくいのですが、頑張ってインタビューに答えていただきました。

UNさんの想い（目的）について教えてください。

私は、介護に関連した仕事をしていました。今もその仕事から離れたわけではありません。

来年くらいに今の仕事（職場）を他の人に引き継ぐ方向で動いています。他にも色々とやりたい事はあるんですが、一番の目的はその事です。そのためにリハビリに取り組んでいます。

これまでリハビリに取り組んできての感想を教えてください。

リハビリは、正直いって大変です。大変やけど今の状態を維持するために頑張ってます。笑

私は、元気なころは、仕事や奉仕活動の第一線で頑張ってきたつもりです。それが突然、脳梗塞を患い、後遺症が残り、それまでの自分とのギャップに、妻ともども大変苦しみました。現実を受け止めるのに結構時間がかかりました。そして当時は、家族にも迷惑をかけたと思います。

ようやく現実を受け止められた時からリハビリが始まりました。今は、更によくなろうというよりもリハビリを行って現状維持を目指そうという心境です。そして、家族には自分がデイケアに来ている間は、自分の時間を大切にしてほしいと思っています。

来年、東京で行われるパラリンピックの特集番組で、車いすバスケットや、他の競技でも障害を持った選手が頑張っている姿を見ると、「自分も頑張ろう！」と勇気をもらっています。

リハビリ担当の対応はいかがですか？

リハビリのスタッフは、非常によくしてくれています。

リハビリのスタッフとは、あほなことを言い合いながらリハビリしています。笑

リハビリに取り組んできて、何かエピソードがあれば教えてください。

私は、8年前に脳梗塞を患った後、通帳や印鑑などのありかを家族に教えたり荷物を整理したりしました。今でいう終活を当時から行っていました。今でこそ終活を行う人も増えてきましたが、当時は終活という言葉はありませんでした。人生何が起こるか分からないので、家族の為にと思って終活を行っていました。

息子は、自分と同じ職業を目指して勉強しています。私から勧めたことはありません。厳しい職業である事も知っているはずです。それでも私の職業を継ぐために頑張っている息子の為に生き抜こう！と思っています。

UNさん取材協力ありがとうございました。

取材させていただいて最後にいただいたコメントが、実はUNさんの一番の想い（目的）なのかな、と感じました。UNさんのリハビリを頑張っている後姿に、息子さんも感じる物があったのでは、と想像します。息子さんがUNさんの職業を引き継げるよう祈念しながら・・・。

シリーズ企画「想いを叶える」は、当法人の病院、診療所、介護施設等で想い（目的）を叶えるためにリハビリに励んでいる患者様・利用者様にお話を伺う企画です。是非、皆様のエピソードをお聞かせください。ご協力いただいた方には、記念品をご用意しております。

研修

韓国の亜州大学病院の方々が見学にいらっしゃいました

2019 年 6 月 6 日（木）に韓国の亜洲大学病院の医師、看護師、事務員の方々が日本でのリハビリテーションの現場視察を目的として当院にいらっしゃいました。

病院病棟見学





現場の看護師や
リハビリスタッフに、
熱心に質問をされていました。

アクティーバ見学





アクティーバでは建物の作りにも
たくさんご質問をいただきました。
特にショートステイのお部屋で障子
の間仕切りに興味を持たれていまし
た。

Café Partir でのお食事





見学終了後はアクティーバ併設
レストラン、パルティールで
お食事を召し上がって頂きました。
パルティールは一般の方のお食事
も可能です。



今回の準備において、職員間で何度も議論を重ねた事が、結果としてお互いの仕事を理解しあう良いきっかけとなりました。このような貴重な場を提供してくださった和歌山県立医科大学病院の方々、並びに亜州大学病院の方々にこの場をお借りして御礼を申し上げます。